

建築研究所ニュース



平成 30 年 12 月 14 日

政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム
「BIM がつながる将来の展望－建築設計・生産各段階の抱く展望と課題」について

国立研究開発法人 建築研究所では、平成 31 年 2 月 4 日（月）に、「BIM がつながる将来の展望－建築設計・生産各段階の抱く展望と課題」と題して、国立大学法人 政策研究大学院大学との共催によるシンポジウムを開催いたします。詳細は、別紙資料のとおりです。

最新情報については、国立大学法人 政策研究大学院大学のホームページ（<http://www.grips.ac.jp/jp/events/>）を御確認ください。

（問合せ先）

国立研究開発法人 建築研究所
所属 企画部 企画調査課
氏名 前田 明継
電話 029-864-2151（代表）
E-mail kikaku@kenken.go.jp



政策研究大学院大学・建築研究所共催シンポジウム
「BIM がつながる将来の展望－建築設計・生産各段階の抱く展望と課題」



趣旨： わが国において「BIM 元年」と呼ばれた 2009 年から 9 年を経て、企画・基本設計の場面や、施工計画の場面において BIM 利用の好事例が紹介され、それぞれの場面で BIM を利用することによる作業の効率化、品質の向上の成果が上がってきています。本シンポジウムでは、国内外の BIM 展開の過程を紐解きつつ、欧米のスタンダードである「つながる BIM」のプロセスが、わが国のこれからの建築生産プロセスに変革・革新をもたらすことが出来るのかについて、建築設計・生産の各段階の代表者を交え、中長期の展望と課題を考究するものです。

※BIM： Building Information Modeling。建物形状とその属性をデータベース化し、建築の企画、設計、施工から維持管理のあらゆるプロセスで積極的に情報活用を可能とする技術のこと。

日時： 2019 年 2 月 4 日（月）13:30-16:15（受付 13:00 から）

会場： 政策研究大学院大学 1 階想海樓ホール 定員：300 名

主催： 国立大学法人政策研究大学院大学、国立研究開発法人建築研究所

後援： 国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人建築行政情報センター、建築研（予定）究開発コンソーシアム、一般社団法人建築性能基準推進協会、一般財団法人建築保全センター、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、日本建築行政会議、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本建築総合試験所、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会、一般社団法人 buildingSMART Japan、公益社団法人ロングライフビル推進協会

プログラム

13. 30－13. 35 主催者挨拶

足永靖信 建築研究所 持続可能プログラム PD

杵掛 誠 政策研究大学院大学 教授

13. 35－14. 05 基調講演

「次世代公共建築研究会を通じてみた BIM の理想と現実」

尾島俊雄 早稲田大学名誉教授（次世代公共建築研究会 座長）

14. 05－15. 50 リレー講演「BIM がつながる将来の展望と課題」

I. 学会の立場から 飯島憲一 日本建築学会 設計・生産の情報化小委員会

IPD コラボレーション研究 WG 主査（大阪電気通信大学）

II. 設計者の立場から 繁戸和幸 日本建築士事務所協会連合会 BIM と情報環境 WG 委員

（安井建築設計事務所）

III. 施工者の立場から 曾根巨充 日本建設業連合会 IT 推進部会 BIM 専門部会副主査（前田建設工業）

IV. 共有情報提供

サービスの立場から 安田幸一 BIM ライブラリコンソーシアムあり方部会 部会長（東京工業大学）

V. 研究開発の立場から 武藤正樹 建築研究所 建築生産研究グループ 上席研究員

15. 50－16. 15 質疑応答

16. 15 閉会

政策研究大学院大学位置図
東京都港区六本木 7-22-1

入場無料（事前登録制）

氏名、所属を明記の上、1 月 30 日(水)までにご連絡下さい。定員になり次第申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

申込先：政策研究大学院大学 担当：菊池

(E-mail:zizoku@grips.ac.jp)

※【申請中】建築 CPD 情報提供制度認定プログラム

